

東中だより



No. 5

文責：高橋 泰

みどりの学校を終えて ～夢成挑 仲間と共に絆を∞に広げよう!!～

5月27日(火)から29日(木)の3日間、2年生がみどりの学校に行ってきました。3日間1滴の雨も降らないお天気 100%のキャンプになりました。私(校長)自身こんな天候に恵まれたみどりの学校は初めてです。2年生はこれまで実行委員を中心にして十分な準備を重ねてきました。3日間をふり返ったとき、予定していたことは全てやり切れたと言い切ることができます。また、みんなが一丸となって一生懸命取り組み、みんなで楽しめたと感じます。それぞれが自分の役割を果たし、みんなに貢献できた喜びを感じ、一人ひとりが大きく成長できました。

校長レポート 一日目

高速道路が三ヶ日 JCT から新東名、三遠南信道へとのび、県民の森の近くの鳳来峡 IC まで抜けたため例年より1時間ほど早く県民の森に到着しました。暑い日が続いていましたが、県民の森は空気が爽やかで涼しく感じました。昼食後行った入村式では、ウグイスのさえずりを聞きながら元気よくそして整然とした姿で臨むことができました。初めての夕食作りではカレーライスに挑戦。煙が目にし悪戦苦闘しましたが、練習どおりできました。



キャンプファイヤーはみんなが心を一つにして楽しもうという雰囲気があり、非常に盛り上がりました。

各クラス十分に練習したスタンツ。ダンスあり、組体操あり趣向を凝らした内容で大きな声援が飛びました。最後の火の舞も高度な技を盛り込んだスピード感あふれる素晴らしい出来映えで、アンコールの声が大きく上がりました。ファイヤー全体の盛り上がりにはファイヤーキーパーのカウンセラーが驚くほどで、ほめていただきました。



校長レポート 二日目

快晴の朝。でも、明け方は寒かった。徐々に気温は上がり、絶好のハイキング日和となりました。全行程3時間半ほどのハイキングにみんなで挑みました。これまで2年間、雨のためフルコースでは行えなかったコース。今年のみなが挑戦し、途中でショートカットコースに変更した生徒もいましたが、大半の生徒が、完歩することができました。



入浴、夕食を終え、二日目の夜は

ナイトメモリーズ。離れてみて感じる家族への感謝の想いを見つめなおす時間。実行委員のキャンドルの炎から177人の炎へと広げました。そして、それぞれが自分の炎を見つめながら自己を振り返ります。その後、学級ごとに分かれて家族から自分に宛てられた手紙を読みました。家族の思いをあらためて知り、涙する生徒もたくさん見られました。そして家族への感謝の手紙をしたためました。



校長レポート 三日目

三日目の朝も晴れ。三日間結局1滴の雨もなし。朝食はうどん。初めてのメニューでした。火の扱いにも慣れ、手際よくつくることができました。昨日の夕食の牛井と同じく、とても美味しくいただくことができました。

立つ鳥あとを濁さずのことばどおり、食器洗い、炊事場の掃除、トイレの掃除など自主的な清掃活動ができました。



た。

退村式前にスローガンの横断幕に今の想いを寄せ書きしました。楽しかった、最高、ありがとう、そんな言葉がたくさん書かれていました。

2年生一人一人が、それぞれの役割を果たしながら大きく成長できた実りあるみどりの学校になりました。



みどりの学校を終えて

僕は企画委員として式などの司会や校旗を上げたり、はじめの言葉を言ったりしました。この三日間が終わって、時間を守る大切さやみんなで協力することの素晴らしさを学びました。

キャンプファイヤーではみんなが盛り上げてくれてとても楽しいファイヤーになりました。スタンプも恥ずかしさを忘れて踊りました。火の舞もかっこよかったです。歌声も大きくカンペキといってもよいキャンプファイヤーでした。

ハイキングでは、少しガケの所やコケで滑りそうになった道など危険な場所もあったけど、着いたときの達成感がすごくあってうれしかったです。

池田 篤司 (2-1)

ナイトメモリーズでは、親からの手紙を読みました。たくさんびっしり書いてあって少し驚きました。読み進んでいくうちに、うれしくて感動して、こんなこと思ってたんだと感じて、気付いたら涙がポロポロ出ていました。家族ってとっても大切だなと思いました。

正直、4月からやってきてあつという間に終わっちゃったなと思いました。でも、このみどりの学校のおかげで多くのことを学ぶことができました。この経験を学校生活に生かし、役立てられたらいいなと思いました。このみどりの学校は、最高の3日間でとっても楽しかったです！